

神田警察通り周辺まちづくり検討部会について

1. 目 的

「神田警察通り沿道まちづくり整備構想」を踏まえ、沿道だけではなく、より広い周辺地域でのまちの将来像の検討を行い、まちづくり方針（案）を策定する。

2. 開催状況

【第3回】神田警察通り周辺まちづくり検討部会

（日 時）令和2年10月23日（金）14：30～16：30

（会 場）神田スクエア 3階会議室

（出席者）委員19名、事務局5名 合計24名

（議 題）1）これまでの振り返りとまちづくり方針について
2）まちづくりの検討

（概 要）以下について資料に基づき事務局から説明し、意見交換を実施。

今後、よりきめ細やかな議論を行うため、エリアを分けて分科会を開催することを確認。

1）これまでの振り返りとまちづくり方針について

- まちづくり方針策定の目的と位置付け（別紙1）
- まちづくり方針の構成の確認（別紙2）
- 検討部会スケジュール・進め方の確認（別紙3）
- 前回（第2回）議事要旨の確認
- ウィズコロナ・アフターコロナの踏まえたまちづくりの論点

2）まちづくりの検討

各分野のまちづくりの視点、検討内容について、委員の皆様より（別紙4）の通りご意見をいただいた。

○分野別のまちづくりの視点（前回（第2回）のまとめ 分野①～③）

①住環境・コミュニティ

②緑・水辺・広場

③道路・交通

○分野別のまちづくりの検討

④景観・街並み

・千代田区における景観まちづくりに関わる計画・ガイドライン等

- ・ 神田警察通り周辺地域における景観街並み形成に向けた視点（案）

⑤防災・安全安心

- ・ 地震に関する地域危険度
- ・ 土地・建物の状況
- ・ 地盤の状況
- ・ 水害予測
- ・ 防災・安全安心に向けたまちづくりの視点

⑥環境負荷の低減

- ・ 千代田区の環境と調和したまちづくり
- ・ 新たに強化する取組

○まちづくり方針図（全体方針図）の検討

神田警察通り周辺地域のまちづくりの経緯

○ 神田警察通り沿道まちづくり検討委員会：H22.3～H23.9

- 【委員】 地元12町会、商店街振興組合、観光協会、千代田区
- 【検討内容】
- ・沿道の魅力と特性、課題
 - ・沿道のまちづくりの目標と将来イメージ
 - ・整備構想実現に向けた今後の取り組み

○神田警察通り沿道整備推進協議会：H23.9～

- 【委員】 学識経験者、地元13町会、商店街振興組合、観光協会、千代田区
- 【検討内容】
- ・整備構想の実現に向けた沿道におけるまちづくりの取り組み方
 - ・各ゾーンにおけるまちづくりのイメージ
 - ・神田警察通りの道路整備について

◇神田警察通り沿道賑わいガイドライン策定検討部会
H24.5～H25.3

- 【委員】 学識経験者、専門家、千代田区
- 【検討内容】
- ・沿道の賑わい創出に関すること
 - ・沿道のまちづくり方針
 - ・道路整備のガイドライン

◇神田警察通り沿道エリアマネジメント専門部会
H25.9～H27.3

- 【委員】 学識経験者、専門家、沿道地権者（事業者）、千代田区
- 【検討内容】
- ・エリアマネジメントの事例研究
 - ・取組みの提案

より広い周辺地域を含めたまちづくりの検討

◇神田警察通り周辺まちづくり検討部会
R1.11～R2予定

- 【委員】 学識経験者、地元町会、千代田区
- 【検討内容】
- ・地域の現状と課題
 - ・分野別のまちづくり／ゾーン別のまちづくり
 - ・エリアマネジメントの検討
 - ・まちの将来像

神田警察通り周辺地域のまちづくりの指針

■ 神田警察通り沿道まちづくり整備構想：H23.6

■ まちづくりの目標

つながまち神田

「人をつなぐ」「まちをつなぐ」「歴史をつなぐ」「文化をつなぐ」「緑をつなぐ」

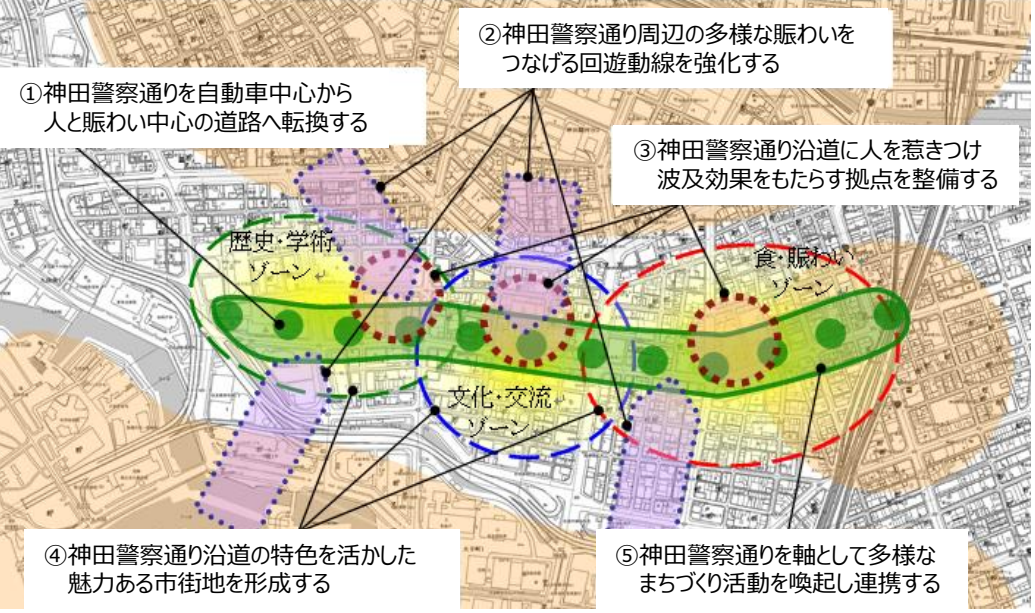
■ まちの目指すべき将来イメージ

神田警察通りの整備をきっかけに魅力のあるまちに変えることで、働く人・住む人を増やし、内側から活力を取り戻す

内側から活力を取り戻すとともに、まちの外側から人を呼び込みまちのにぎわい・活性化を図る

■ 神田警察通り沿道賑わいガイドライン：H25.3

■ 神田警察通りの整備方針、沿道のまちづくりの方針



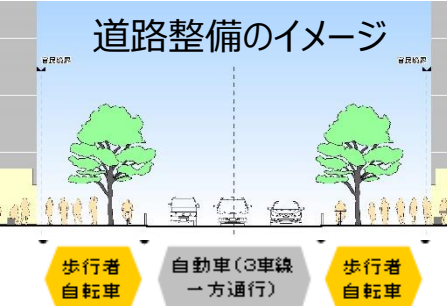
■ 神田警察通り周辺地域まちづくり方針（仮称）
＜今回策定＞

1. まちづくり方針策定の目的と位置付け
2. 神田警察通り周辺地域の現状とまちづくりの視点
3. 神田警察通り周辺地域のまちづくり方針

⇒まちづくり方針の構成案は、別紙2のとおり

まちづくりの実現

沿道の賑わい創出等に資する
神田警察通り沿道の整備



自動車中心から人と賑わい中心の道路へ

- ・車道4車線→3車線
- ・歩道の拡幅
- ・自転車走行空間の整備

地域の具体的なまちづくり方針として運用
↓
方針に沿って
まちづくりを実施

神田警察通り沿道

神田警察通り周辺

1. まちづくり方針策定の目的と位置付け

策定の目的、上位計画等既存のまちづくりの考え方との関係

2. 神田警察通り周辺地域の現状とまちづくりの視点 → 第1～3回部会で検討

6つの分野における神田警察通り周辺地域の現状（課題・魅力）

6つの分野における神田警察通り周辺地域のまちづくりの視点

3. 神田警察通り周辺地域のまちづくり方針 → 第3～5回部会で検討

● 神田警察通り周辺地域の全体方針図

神田警察通り周辺地域内の連携、隣接地域との連携により「つなぐまち神田」を実現するためのまちづくりの指針となる方針図

● 神田警察通り周辺地域の詳細方針図

「つなぐまち神田」を実現するために
地域のニーズに細やかに応える整備内容等を具体的に示した方針図

● 上記方針の実現のための仕組み・視点

詳細方針図に示す整備内容等を実現するための仕組み・視点
神田らしい活動・営みの継承に着目した取り組みや仕組み

■令和2年度スケジュール（案）⇒今年度末のまちづくり方針（仮称）策定を目指す

年度	令和元年度		令和2年度			
月	10～12	1～3	4～9	10	11～12	1～3
沿道整備推進協議会	● 第16回(2/19) まちの課題				● 第17回(12月) 樹種選定ほか	● 第18回(4Q) 部会報告
↑ 随時報告 まちづくり検討部会 ⇒詳細は次頁 ↓ 適宜連携	● 第1回 (11/14)	● 第2回 (2/5)		● 第3回 (10月)	● 第4回 (12月)	● 第5回 (2～3月) 方針策定
都市計画 マスタープラン改定	● 全体・分野別構想 ⇒中間まとめ		● 地域別構想の検討	● 改定素案の検討	● 改定案の検討	

※新型コロナウイルス感染症の状況により、スケジュールは必要に応じ適宜見直し

○分野別のまちづくりの視点（前回（第2回）のまとめ 分野①～③）

① 住環境・コミュニティ

- －コロナウイルスの影響により、在宅勤務している人も多くいるはずだが街に出てきていない。夜のスーパーには家族連れが多い。
- －新しいマンション住民にコロナ後どのように街に関わってもらうか。我々町会も考えていく必要がある。
- －スーパーや広場などで、付き合いの薄い新住民とどう付き合いのきっかけを作っていくのかは貴重な論点

② 緑・水辺・広場

- －歴史的な河岸地の公共空間が暗い場となっている。川沿いの開発の中でどう低密度、開放的な広場を作り、神田の歴史的な水辺空間を取り戻していくか手法も含めて検討、議論する必要があると認識。
- －神田スクエアのオープンスペースは裏通りにも配慮されており評価している。4面すべてに顔を持っており、デベロッパーの方たちも私たち同様に学んでいる。区も法整備を進めるとともに検証をしていく必要がある。
- －神田スクエアでこれだけまとまって広場がとられているのは評価できる。

③ 道路・交通

- －現在の警察通りは喫煙所などもあり、歩いて通りたくない場所となっている。道路・交通の分野でも環境面の充実について論点を加えるべき。

○分野別のまちづくりの検討

④ 景観・街並み

- －地域資源として既に無くなってしまっているものもある。川沿いの再開発などでは見えない歴史や文化を見える化していくことが重要。
- －警察通り側にオープンスペースを取りすぎてしまうと、歩道空間と1階の商業空間が離れすぎてしまい、通りから建物の中の賑わいが見えなくなってしまう。低層部を工夫することで、既存の街並みとのうまい付き合い方ができるのではないか。
- －さくら通りのレンガ造りの建物が解体されることがSNSでも話題になったが、結局はオーナーの意向で建て替えることになってしまった。
- －戦前の建物ですら建て替えの波に飲み込まれている。

⑤ 防災・安全安心

- － 都の調査では千代田区の安全性は高い。ただし、建物倒壊という点で、倒壊する建物、しない建物が街区内に混在するとその後の復興が難しくなるという面もある。事前に復興について考えておくことが重要。
- － 区では在宅避難をすることになっているが、電気が途絶えると避難生活が困難になる。
- － 神田の下町文化を支えてきている昔からある建物の多くが倒壊などのリスクを抱えている。それらを守っていくのか、更新するのか、個別オーナーの問題でもあるが、街の問題でもある。

⑥ 環境負荷の低減

- － 総合設計で整備される広場には歩行者の風環境の悪化を防ぐため常緑樹を植える場合が多い。そういった広場は昼間でも暗く、季節感を感じにくい。こういった広場にしたいかを考える際には、そういった建物の規模や配置などについても考慮する必要がある。
- － 神田スクエアで行われているような面的にエネルギー供給が可能な設備の整備等が重要。
- － ウォーカブルも環境負荷の低減には重要な要素となる。まとめる際には他の分野とも相互に関係していることを明記しておくなどの配慮が必要。

⑦ その他ご意見

- － このエリアは以前博報堂、電大の城下町だった。神田スクエアにも任天堂、ブリヂストンスポーツが本社を移転してきていると噂で聞いているが看板を見かけない。この街に責任と誇りを持っているような企業に来てほしい。
- － 開発された後は、賃料が高くなってしまい昔から商売している人は入れず、大手のスーパーなどになってしまう。
- － まちづくり方針の策定に向けてこういった会議が開かれていること自体を知ってもらうことも重要。歩いて楽しいまちはどういう道なのかといった話をまちの人から聞けるのではないか。
- － コロナ以前からサテライト勤務の流れはすでに始まっていた。
- － 神田スクエアも外に開かれた感覚はなく、全部内向きだと感じている。どこの開発もそういった敷地完結型が多い。
- － 機能を高度化すると敷地完結になる傾向がある。ソフトでの連携をハード整備とどうつなげていくのかを明記していくことが重要。